



2020年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年8月9日

上場会社名 関東電化工業株式会社
 コード番号 4047 URL <https://www.kantodenka.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 法務・総務部長
 四半期報告書提出予定日 2019年8月9日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 (氏名) 長谷川 淳一
 (氏名) 二見 浩司
 TEL 03-3257-0371

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	13,212	0.1	1,938	27.5	1,967	31.7	1,258	36.2
2019年3月期第1四半期	13,225	14.9	2,672	10.9	2,881	18.2	1,972	16.1

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 1,184百万円 (3.3%) 2019年3月期第1四半期 1,225百万円 (39.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	21.87	
2019年3月期第1四半期	34.29	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第1四半期	80,351	44,858	54.4	759.97
2019年3月期	81,601	44,100	52.7	746.88

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 43,716百万円 2019年3月期 42,963百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		6.00		7.00	13.00
2020年3月期					
2020年3月期(予想)		7.00		7.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	26,900	1.9	3,300	33.5	3,300	37.2	2,200	39.8	38.25
通期	53,300	3.4	5,600	40.7	5,700	40.6	3,950	39.7	68.67

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期1Q	57,546,050 株	2019年3月期	57,546,050 株
期末自己株式数	2020年3月期1Q	22,531 株	2019年3月期	22,531 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期1Q	57,523,519 株	2019年3月期1Q	57,523,519 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、[添付資料]3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報.....	2
(1) 経営成績に関する説明.....	2
(2) 財政状態に関する説明.....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明.....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記.....	4
(1) 四半期連結貸借対照表.....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書.....	6
(四半期連結損益計算書).....	6
(四半期連結包括利益計算書).....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項.....	8
(継続企業の前提に関する注記).....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記).....	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用).....	8
(セグメント情報).....	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、輸出や生産の弱さが続いたものの、各種政策の効果もあり、緩やかな回復基調が続きました。一方、海外においては、通商問題の動向が世界経済に与える影響や、中国経済の先行き、海外経済の動向と政策に関する不確実性についても留意する必要があります。先行き不透明な状況が続きました。

このようななか、当社グループの当第1四半期連結累計期間の売上高は、精密化学品事業部門や設備事業部門が増収となったものの、基礎化学品事業部門や鉄系事業部門が減収となったため、132億12百万円と前年同期に比べ13百万円、0.1%の減少となりました。損益につきましては、固定費の増加や営業外収支の悪化等により、経常利益は19億67百万円と前年同期に比べ9億14百万円、31.7%の減少となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は12億58百万円と前年同期に比べ7億14百万円、36.2%の減少となりました。

セグメント別の概況は、次のとおりであります。

① 基礎化学品事業部門

か性ソーダは、販売数量は減少したものの価格修正効果により、前年同期に比べ増収となりました。塩酸は、販売数量の減少により、前年同期に比べ減収となりました。

塩素系有機製品につきましては、トリクロールエチレンおよびパークロールエチレンは、販売数量の減少により、前年同期に比べ減収となりました。

以上の結果、基礎化学品事業部門の売上高は、17億63百万円となり、前年同期に比べ87百万円、4.7%の減少となりました。営業損益につきましては、営業利益1億61百万円となり、前年同期に比べ40百万円、20.0%の減少となりました。

② 精密化学品事業部門

半導体・液晶用特殊ガス類につきましては、三フッ化窒素およびヘキサフルオロ-1,3-ブタジエンは、販売数量の減少により、前年同期に比べ減収となりました。六フッ化タングステン は、販売数量の減少と販売価格の低下により、前年同期に比べ減収となりました。

電池材料の六フッ化リン酸リチウムは、販売数量の増加により、前年同期に比べ増収となりました。

以上の結果、精密化学品事業部門の売上高は、97億03百万円となり、前年同期に比べ98百万円、1.0%の増加となりました。営業損益につきましては、減価償却費や人件費等の固定費が増加したこと等により、営業利益15億35百万円となり、前年同期に比べ6億84百万円、30.8%の減少となりました。

③ 鉄系事業部門

複写機・プリンターの現像剤用であるキャリアーは、販売数量の減少により、前年同期に比べ減収となりました。鉄酸化物は、着色剤の販売減少により、前年同期に比べ減収となりました。

以上の結果、鉄系事業部門の売上高は、6億06百万円となり、前年同期に比べ61百万円、9.3%の減少となりました。営業損益につきましては、営業利益1億03百万円となり、前年同期に比べ32百万円、23.7%の減少となりました。

④ 商事事業部門

商事事業につきましては、化学工業薬品の販売減少により、前年同期に比べ減収となりました。

以上の結果、商事事業部門の売上高は、5億93百万円となり、前年同期に比べ5百万円、0.9%の減少となりました。営業損益につきましては、営業利益38百万円となり、前年同期に比べ11百万円、45.3%の増加となりました。

⑤ 設備事業部門

化学設備プラントおよび一般産業用プラント建設の売上高は、請負工事の増加により前年同期に比べ増収となりました。

以上の結果、設備事業部門の売上高は、5億45百万円となり、前年同期に比べ42百万円、8.5%の増加となりました。営業損益につきましては、営業利益71百万円となり、前年同期に比べ6百万円、10.2%の増加となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の資産は、たな卸資産や有形固定資産が増加した一方、現金及び預金や受取手形及び売掛金、流動資産のその他が減少したことなどから、前連結会計年度末に比べ12億49百万円減少し、803億51百万円となりました。

負債は、未払法人税等や借入金、支払手形及び買掛金、流動負債のその他が減少したことなどから20億08百万円減少し、354億92百万円となりました。

純資産は、利益剰余金が増加したことなどから7億58百万円増加し、448億58百万円となりました。自己資本比率は、前連結会計年度末の52.7%から54.4%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期第2四半期連結累計期間および通期の業績予想につきましては、2019年5月15日付にて公表しました業績予想を修正しております。詳しくは、別途公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後さまざまな要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	18,409	15,449
受取手形及び売掛金	15,219	14,383
電子記録債権	792	914
商品及び製品	3,494	4,151
仕掛品	4,602	5,331
原材料及び貯蔵品	2,982	3,172
その他	1,489	999
貸倒引当金	△25	△25
流動資産合計	46,964	44,377
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,348	6,317
機械装置及び運搬具（純額）	9,272	8,922
その他（純額）	10,086	11,586
有形固定資産合計	25,707	26,826
無形固定資産	419	429
投資その他の資産		
投資有価証券	6,568	6,513
繰延税金資産	1,411	1,430
その他	534	779
貸倒引当金	△4	△5
投資その他の資産合計	8,509	8,719
固定資産合計	34,636	35,974
資産合計	81,601	80,351

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,208	7,051
電子記録債務	723	632
短期借入金	4,210	4,210
1年内返済予定の長期借入金	1,343	1,843
未払法人税等	1,750	679
役員賞与引当金	106	—
その他	4,911	4,723
流動負債合計	20,254	19,140
固定負債		
長期借入金	15,102	14,250
役員退職慰労引当金	134	132
環境対策引当金	17	17
退職給付に係る負債	1,805	1,760
その他	187	191
固定負債合計	17,246	16,351
負債合計	37,501	35,492
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,877	2,877
資本剰余金	1,829	1,829
利益剰余金	36,567	37,423
自己株式	△12	△12
株主資本合計	41,262	42,118
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,714	1,678
為替換算調整勘定	△15	△87
退職給付に係る調整累計額	2	6
その他の包括利益累計額合計	1,700	1,597
非支配株主持分	1,136	1,142
純資産合計	44,100	44,858
負債純資産合計	81,601	80,351

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
売上高	13,225	13,212
売上原価	8,859	9,375
売上総利益	4,366	3,836
販売費及び一般管理費	1,693	1,897
営業利益	2,672	1,938
営業外収益		
受取利息	1	1
受取配当金	100	114
為替差益	62	—
デリバティブ評価益	11	18
試作品売却益	—	4
その他	104	28
営業外収益合計	280	168
営業外費用		
支払利息	33	44
為替差損	—	88
試作品売却損	21	—
その他	15	6
営業外費用合計	71	139
経常利益	2,881	1,967
特別損失		
固定資産除却損	27	19
減損損失	—	45
特別損失合計	27	64
税金等調整前四半期純利益	2,854	1,902
法人税等	835	600
四半期純利益	2,018	1,301
非支配株主に帰属する四半期純利益	46	43
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,972	1,258

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益	2,018	1,301
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△486	△45
為替換算調整勘定	△312	△75
退職給付に係る調整額	4	4
その他の包括利益合計	△793	△116
四半期包括利益	1,225	1,184
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,206	1,155
非支配株主に係る四半期包括利益	19	29

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。但し、見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によって計算しております。

(セグメント情報)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	基礎化学品 事業	精密化学品 事業	鉄系事業	商事事業	設備事業	計		
売上高								
(1) 外部顧客への売上高	1,850	9,605	668	598	502	13,225	—	13,225
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	355	46	11	982	533	1,930	△1,930	—
計	2,206	9,651	680	1,581	1,036	15,156	△1,930	13,225
セグメント利益	201	2,220	136	26	64	2,649	23	2,672

(注) 1. セグメント利益の調整額23百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	基礎化学品 事業	精密化学品 事業	鉄系事業	商事事業	設備事業	計		
売上高								
(1) 外部顧客への売上高	1,763	9,703	606	593	545	13,212	—	13,212
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	320	42	8	1,174	404	1,951	△1,951	—
計	2,084	9,746	615	1,767	949	15,163	△1,951	13,212
セグメント利益	161	1,535	103	38	71	1,910	28	1,938

(注) 1. セグメント利益の調整額28百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

報告セグメントに配分されていない全社資産のうち、本社移転の意思決定に伴い、本社事務所資産について減損損失を認識しております。当該減損損失の金額は当第1四半期連結累計期間において45百万円であります。